



JR東労組 八王子

HACHIOJI



ホームページ

発行責任者
執行委員長 針谷 歩

2022/10/7 №31

9月30日 八地申4号「変革2027」の実現に向けた 組織再編に関する申し入れ交渉開催！！ その②

【申し入れ内容】

4. 活躍フィールドを広げることによって、休憩時間・在宅休養時間・勤務間インターバルの確保を妨げることのない体制を確保すること。

- ・勤務間インターバルの確保についての考え方は？
- ・勤務間インターバル制度は働き方改革法で現状努力義務であるが支社としての考え方は？

5. 現段階支社内で業務を行っている現在員数を明らかにすること。また現場に移管される企画業務を行う上で必要な要員数を明らかにすること。

- ・10月1日以降の支社ビルのレイアウトは？
- ・再編以降支社ビルで勤務する人数はどの程度か？

6. これまで築き上げてきた鉄道事業における専門性の高い知識や技術および技能を次世代へ継承できる体制を確立すること。

- ・現状支社主催で行われている研修は今後も行っていくのか？

7. 今施策実施後に現業機関に権限委譲される企画業務を明らかにすること。

- ・権限委譲される企画業務は何か？

【回答】

引き続き、効率的な業務執行体制の構築と適切な労働時間管理を行っていく。

- ・勤務指定の中で労働することが望ましいと考える。
- ・支社として制度化については持ち合わせていない。
- ・休日、休養、勤務間インターバルを確保することにより、肉体的にも精神的にも健全な状態で労働することは必要なことである。→認識一致

引き続き、効率的な業務執行体制を構築していく。なお、業務運営に必要な要員は確保していく。

- ・2F 設備、3F モビリティサービス、4F 総務である
- ・交渉の場所では示すことはできない。

「安全」や「地域との関係」を維持しながら、鉄道オペレーションをサステナブルに運営することを目的に、必要な教育を行っていく。

- ・人事が行っていた新入社員研修はダイバーシティユニット、運転勉強会や輸送関係は安全企画ユニットが担うが、教育関係は今後も維持していく。→確認

「お客さまに最も近い」という現場の発想力を最大限活かして、これまでの組織の垣根を越えた業務を現場で担うことにより、今まで以上に安全やサービスレベルの向上、収益力の強化等につながる施策を自律的に実現していく。

- ・すべての企画業務が営統セで完結するものではない。過渡期として走りながら作っていくイメージである。